

# ブラジル日本商工会議所 業種別部会長シンポジウム 「自動車部会」レポート

2015年2月24日

## ＜2014年振り返りと2015年展望＞ 再生を目指すブラジル経済！ どう頑張る日系ビジネス

サンパウロ モーター・ショー

### 四輪業界動向

1. 2014年振り返り
2. 2015年展望
3. 新政権の方針と業界への影響
4. 競争力強化への課題
5. 日系メーカーとしての取組み
6. 総括

### 二輪業界動向

## 第28回 サンパウロ モーター・ショー

## ◆概要

- 期間:10月30日から11月9日(11日間:一般者公開)
- 場所:アニエンビー展示場
- データ:
  - 入場者数 過去最高の756,114人(前回比5,291人増)  
(その内女性が240,000人と、割合が増加)
  - 出展メーカー数:41、 展示車:547台と過去最高



# 第28回 サンパウロ モーター・ショー

## ◆コンパクト SUV



**HONDA**



**PEUGEOT**



**CHEVLORET**



**CITROEN**



**KIA**



**LIFAN**

## ◆高級車エントリーモデル



**AUDI**



**VOLVO**



**VOLVO**

# 第28回 サンパウロ モーター・ショー

## ◆エコカー



**HONDA**



**TOYOTA**



**MITSUBISHI**



**SMART**



**BMW**



**KIA**



**HONDA**



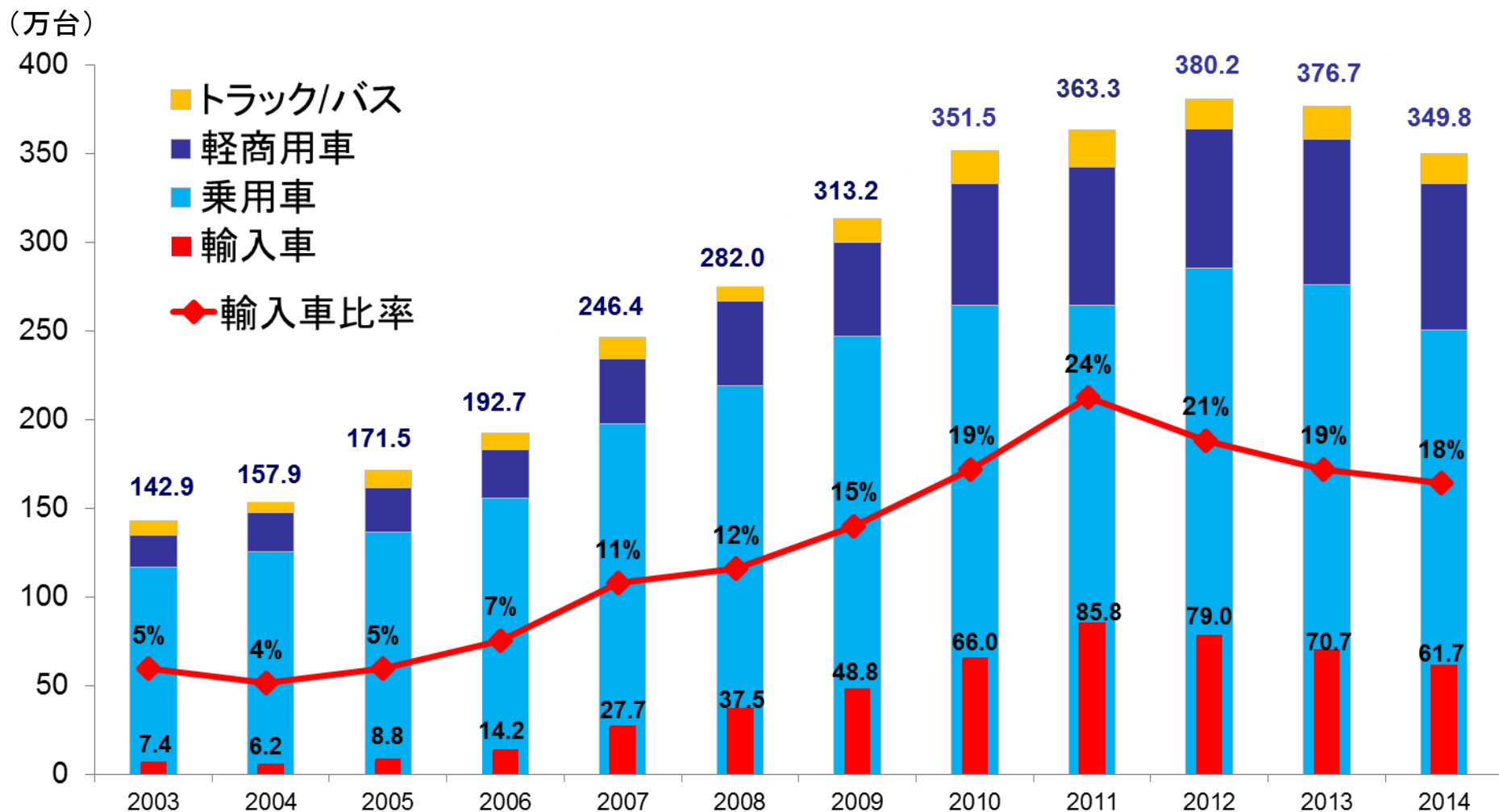
**TOYOTA**

## 四輪業界動向

1. 2014年振り返り
2. 2015年展望
3. 新政権の方針と業界への影響
4. 競争力強化への課題
5. 日系メーカーとしての取組み
6. 総括

## 1.1 2014年振り返り ― 四輪車販売台数 推移

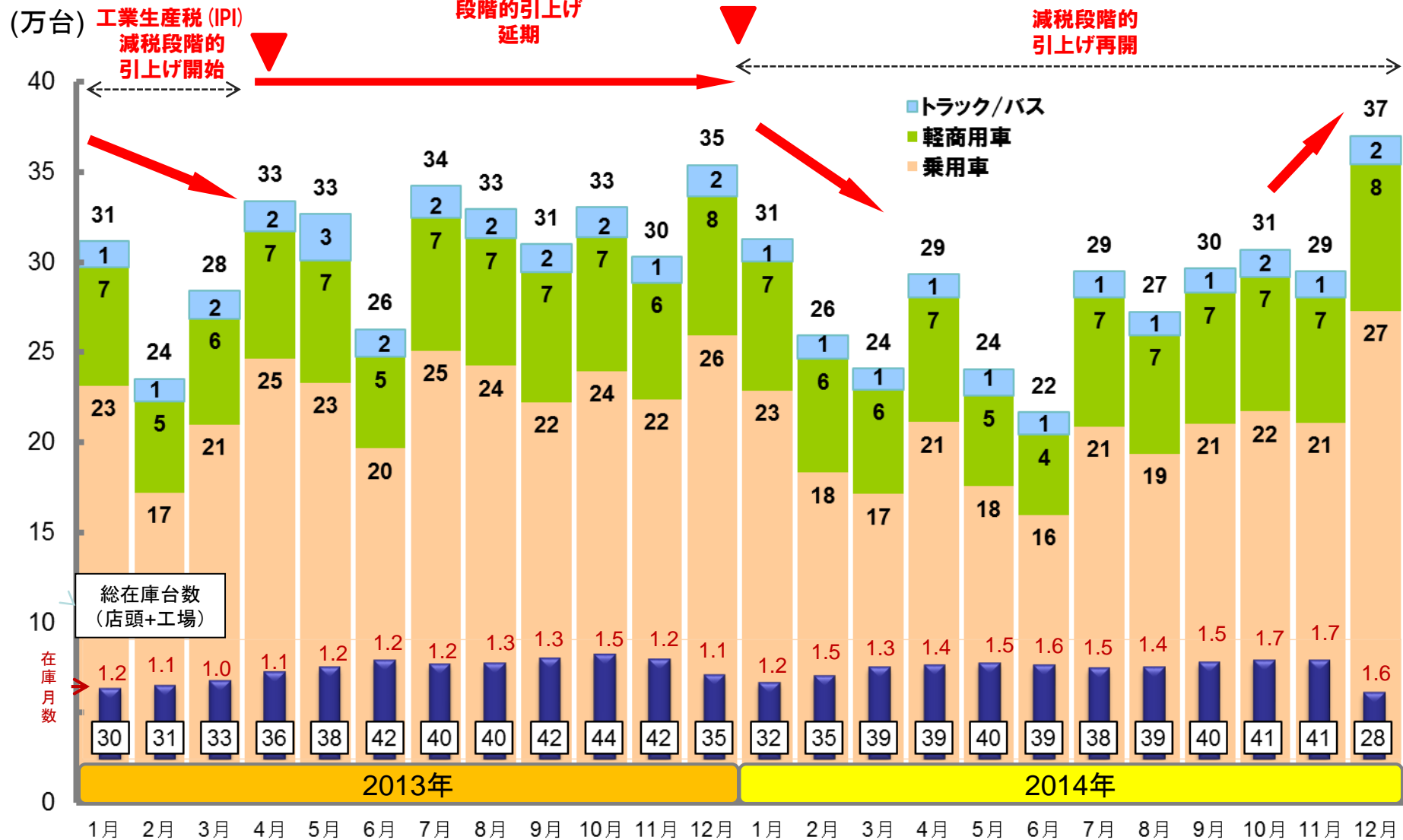
出典: ANFAVEA(ブラジル自動車工業会) 大型バス、トラックを含む四輪合計



- 2014年の販売実績は約350万台で前年比93%と2年連続で前年を下回った
- 輸入車比率は18%と3年連続低下

## 1.2 2014年振り返り 一月別販売台数 推移

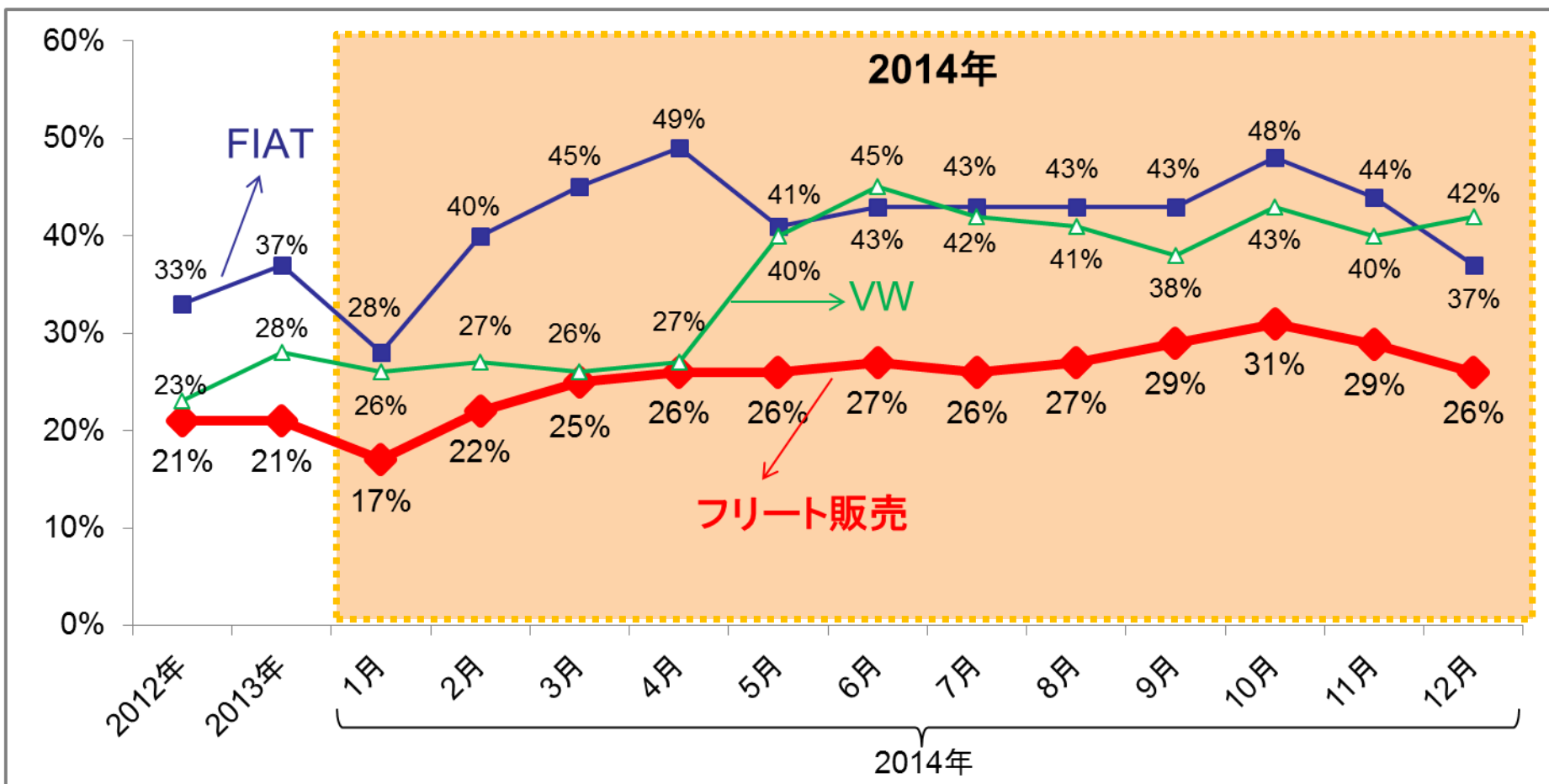
出典: ANFAVEA 大型バス、トラックを含む四輪合計



- ・ 6月はW杯の影響により需要低下
- ・ 12月はIPI税率引上げ前の駆け込み需要で販売増

## 1.3 2014年振り返り 一月別販売台数 フリートの比率

出典: ANFAVEA



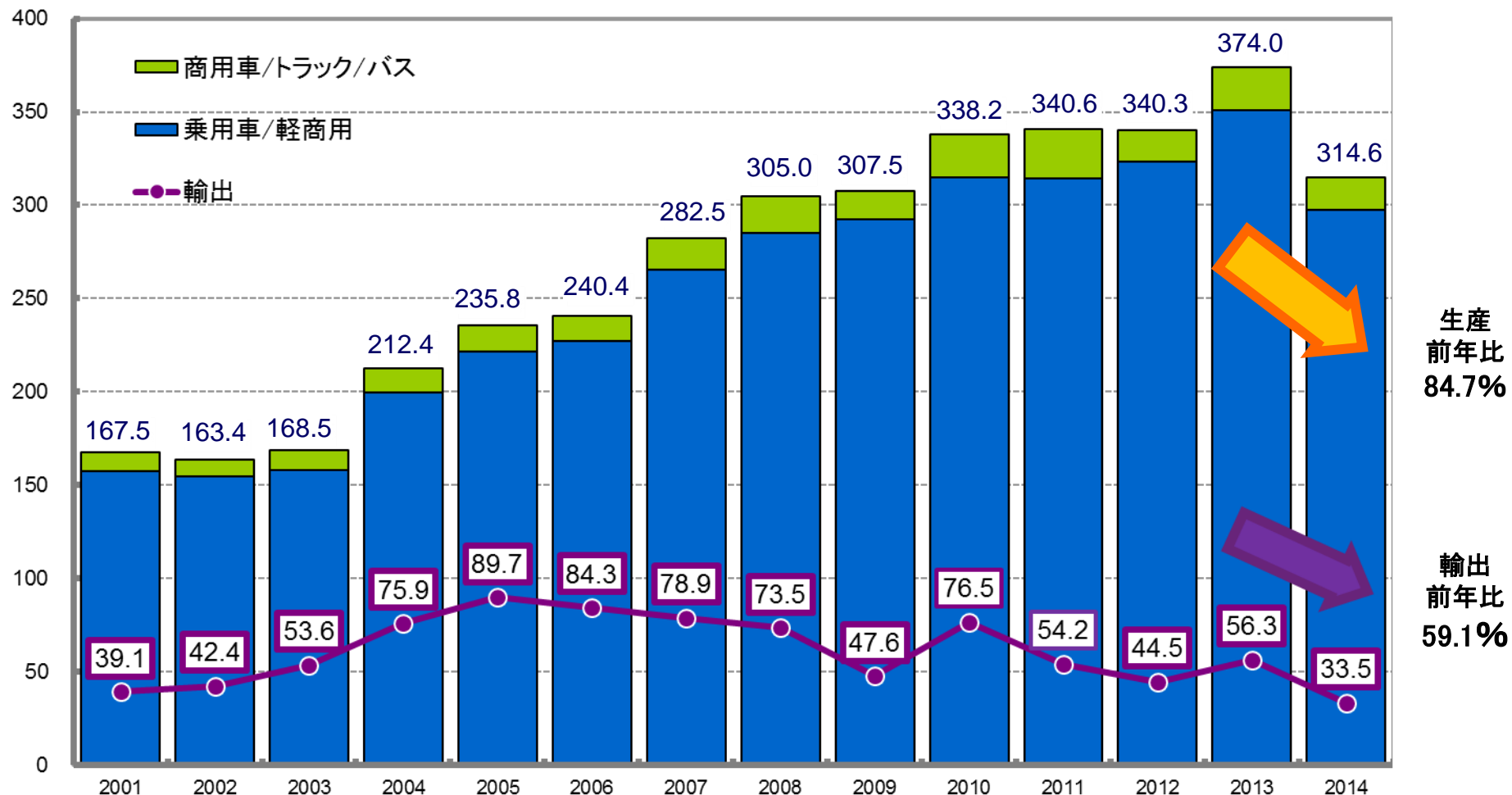
- ・ フリート販売比率は2012年、2013年と比較して高水準(26%)で推移
- ・ FIAT、VWのフリート比率が高い理由は主にレンタカーやタクシー会社への販売によるもの



## 1.4 2014年振り返り ― 四輪車生産・輸出台数 推移

出典: ANFAVEA 生産実績にCKD含まず

(万台)



- ・ 2014年の総生産台数は約315万台(前年比84.7%)
- ・ 国内販売減少並びに在庫調整、輸出の82%を占めるアルゼンチン向け自動車輸出の減少が要因
- ・ 一部メーカーは集団休暇ならびにレイオフ、希望退職制度などで生産調整を実施

## 1.5 2014年振り返り ―四輪車輸出台数 カテゴリー別

## ◆ カテゴリー別 輸出概要 (単位:台)

出典:ANFAVEA

カテゴリー	2013年	2014年	前年比	主要輸出相手国	FOB百万ドル	総輸出に占める比率
乗用車	397,218	222,334	56%	アルゼンチン	2,434.39	82%
ライトトラック	134,294	87,822	65%	メキシコ	208.82	7%
トラック	25,019	17,737	71%	コロンビア	9.74	3.4%
バス	9,768	6,608	68%	ウルグアイ	78.09	2.6%
合計	566,299	334,501	59%	パラグアイ	31.60	1.1%

## ◆ メーカー別輸出推移 (単位:台)

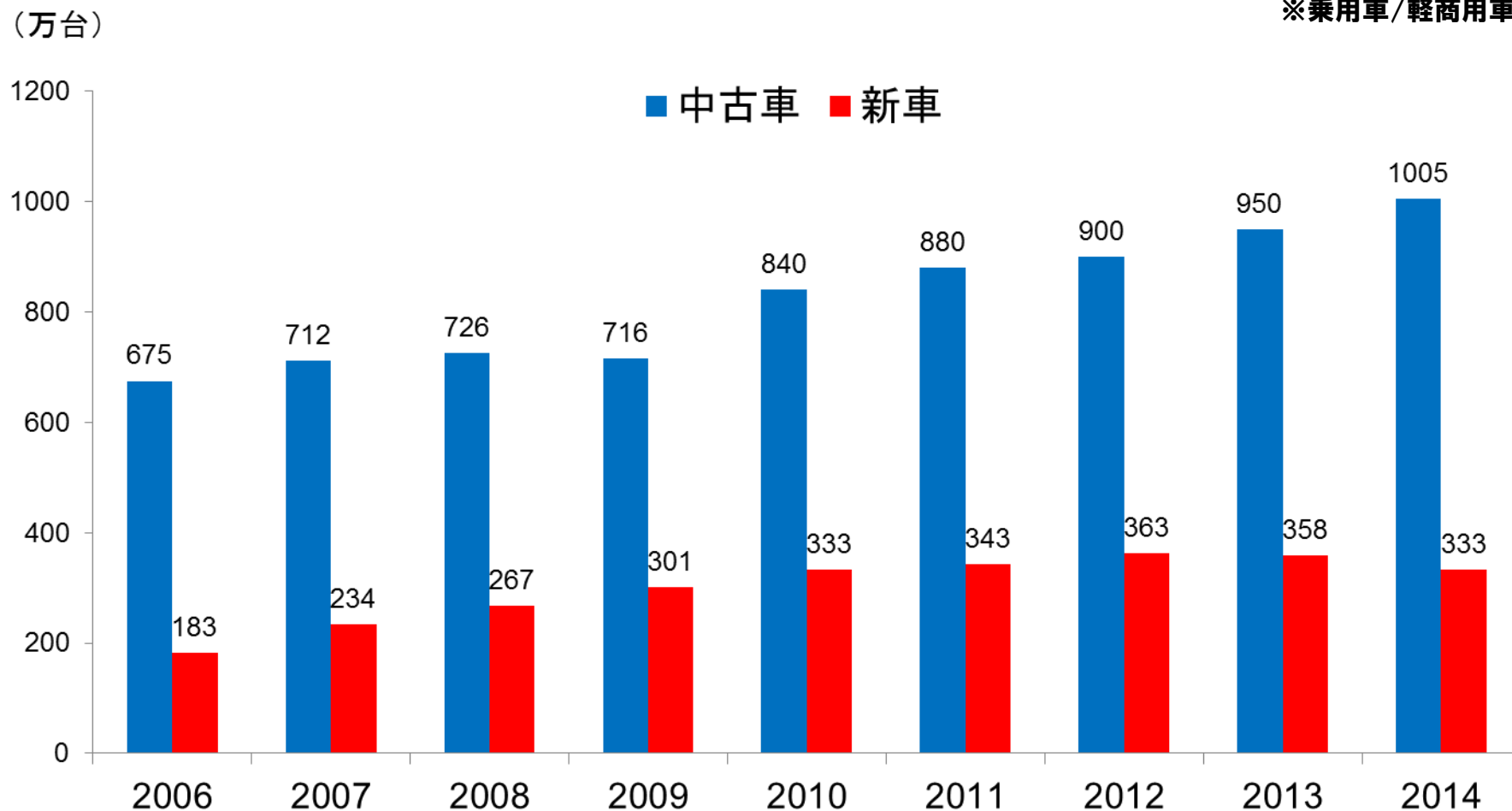
順位	メーカー	2010	2011	2012	2013	2014	前年比
1	VW	392,551	178,343	142,743	148,911	92,275	62%
2	GM	78,074	97,475	68,286	104,500	47,594	46%
3	FORD	71,194	67,295	57,314	74,327	46,833	63%
4	FIAT	66,554	87,178	55,159	75,720	43,516	57%
5	Renault	56,946	60,064	58,168	63,276	34,415	54%
6	Toyota	10,982	12,652	16,152	19,617	33,275	170%
7	Peugeot Citroen	17,935	24,702	21,816	53,910	28,288	52%

- ・ 乗用車を中心に輸出が大きく減少
- ・ 主要輸出先のアルゼンチンの景気停滞や外貨不足による輸入制限措置が理由

## 1.6 2014年振り返り ― 四輪車中古車販売 推移

出典:FENABRAVE/ ANFAVEA

※乗用車/軽商用車のみ



- ・ 中古車市場は年々拡大傾向
- ・ 2014年の乗用車・軽商用車の中古車販売台数は過去最高の1005万台

## 2.1 2015年展望 一 経済

出典:BR中央銀行 FOCUS (2015年1月)

## ◆ブラジル経済指数推移

	2010	2011	2012	2013	2014	2015予測	2016予測
実質経済成長率(%)	7.5	2.7	1.0	2.5	0.1	0.38	1.8
為替 年末予想 (レアル/\$)	1.66	1.87	2.05	2.36	2.66	2.80	2.85
インフレ (IPCA - %)	5.9	6.5	5.8	5.9	6.4	6.7	5.7
金利(SELIC) 年末予想(%)	10.75	11.00	7.25	10.00	11.75	12.50	11.50

- GDPの低成長
- ブラジル・レアル安の進行による輸入部品の価格上昇が懸念される一方、輸出環境は改善
- インフレの進行（公共料金の値上げ、燃料税[CIDE]の復活などの増税）
- 金利(SELIC)の上昇

さらに

- 消費マインドの冷え込み、失業率の上昇傾向、クレジットの引き締め等による国内需要の低下

## 2.2 2015年展望 ー自動車業界

出典: ANFAVEA 生産実績にCKD含まず

## ◆ブラジル市場・輸出・生産の2014年実績と2015年予測

単位: 万台

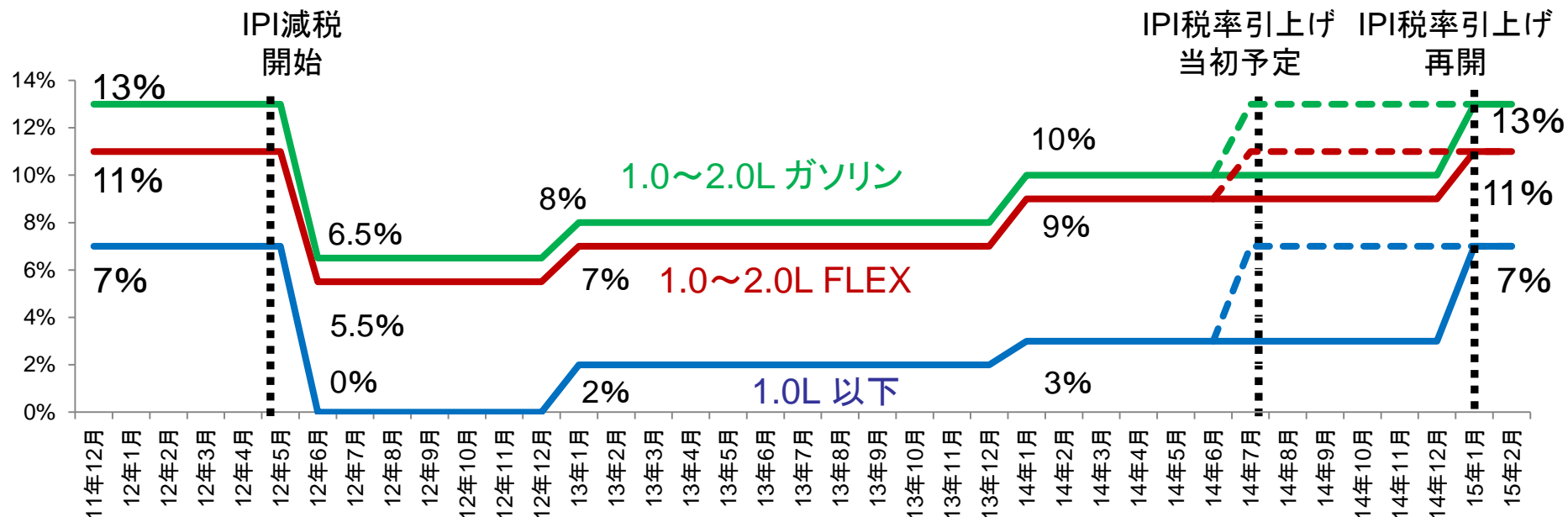
	2014年実績	2015年予測 ANFAVEA <1月8日発表>	前年比(2015/2014) ANFAVEA予測 <1月8日発表>
国内市場	349.8 (自動車部会予測: 350)	349.8 (自動車部会予測: 330)	100% (自動車部会予測: 94%)
輸出台数	33.5	33.8	101%
生産台数	314.6	327.6 (自動車部会予測: 300)	104% (自動車部会予測: 95%)

- ・ ANFAVEAは販売台数は約350万台と前年水準を維持するものと予測
- ・ IPI税率引上げ再開による価格上昇、政策誘導金利の上昇、消費マインドの悪化などで購買意欲減少
- ・ 生産はフィアット、チェリー社の新自動車工場の稼働開始や輸出の回復により327.6万台とやや増える予測
- ・ 水不足や電気供給不足による生産コストの上昇

## 2.3 2015年展望 —IPI税状況

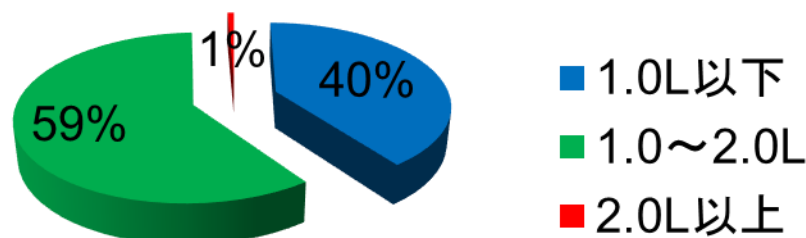
出典: ANFAVEA

## ◆ IPI税率の推移(排気量別)



## ◆ 2014年マーケットシェア(排気量別)

出典: ANFAVEA



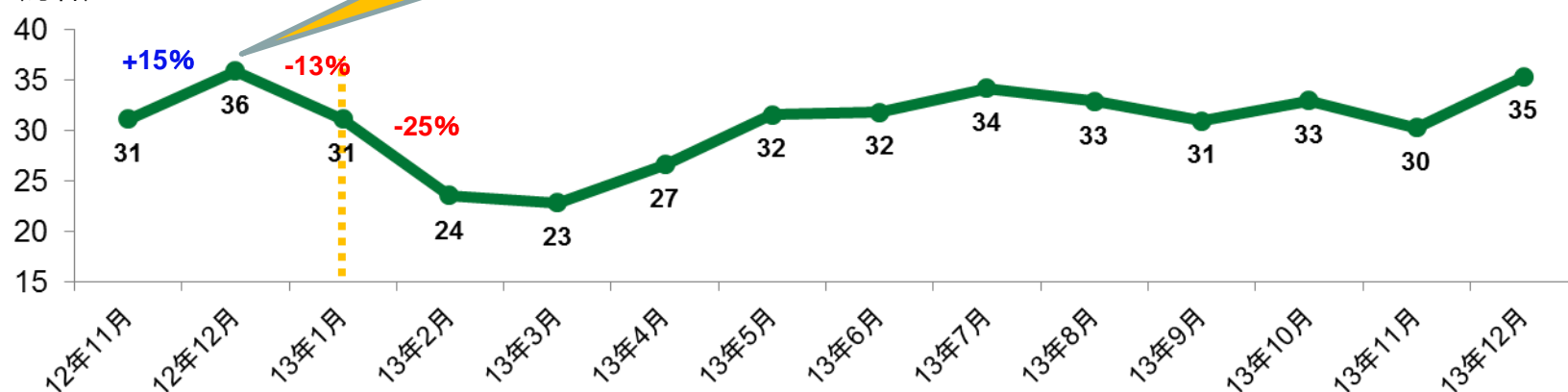
- ・ 7月にIPI税率引上げの予定が、年末まで延期
- ・ 今年1月から税率引上げ再開
- ・ 2015年以降も厳しい状況が続くと想定

## 2.4 2015年展望 — IPI減税戻し再開後の市場比較

出典: ANFAVEA

## ◆ 2012/2013 実績

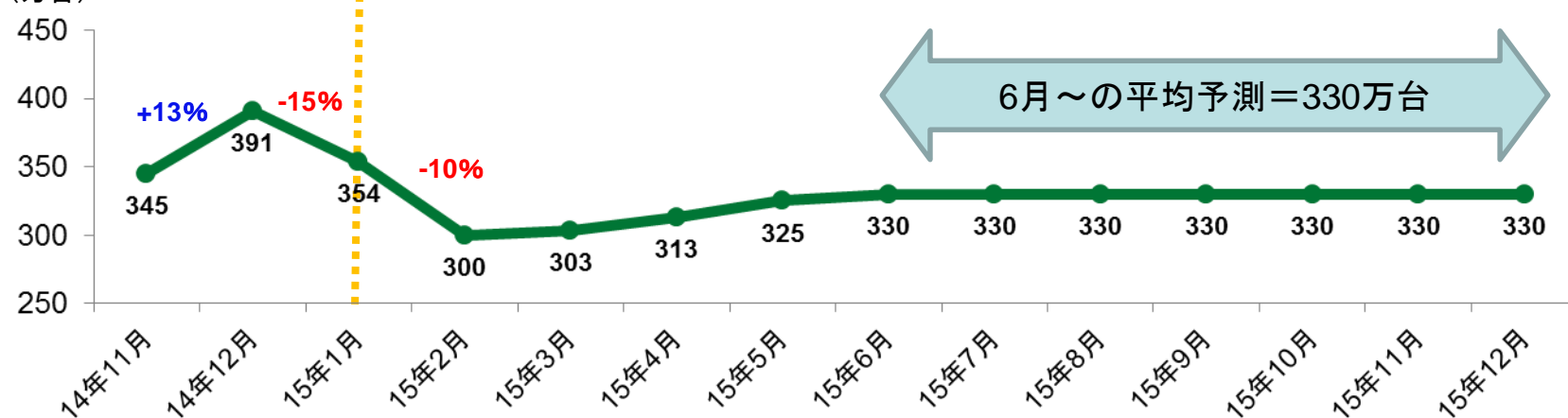
(万台)



## ◆ 2014/2015 予測

社内調べ。数字は年率換算

(万台)

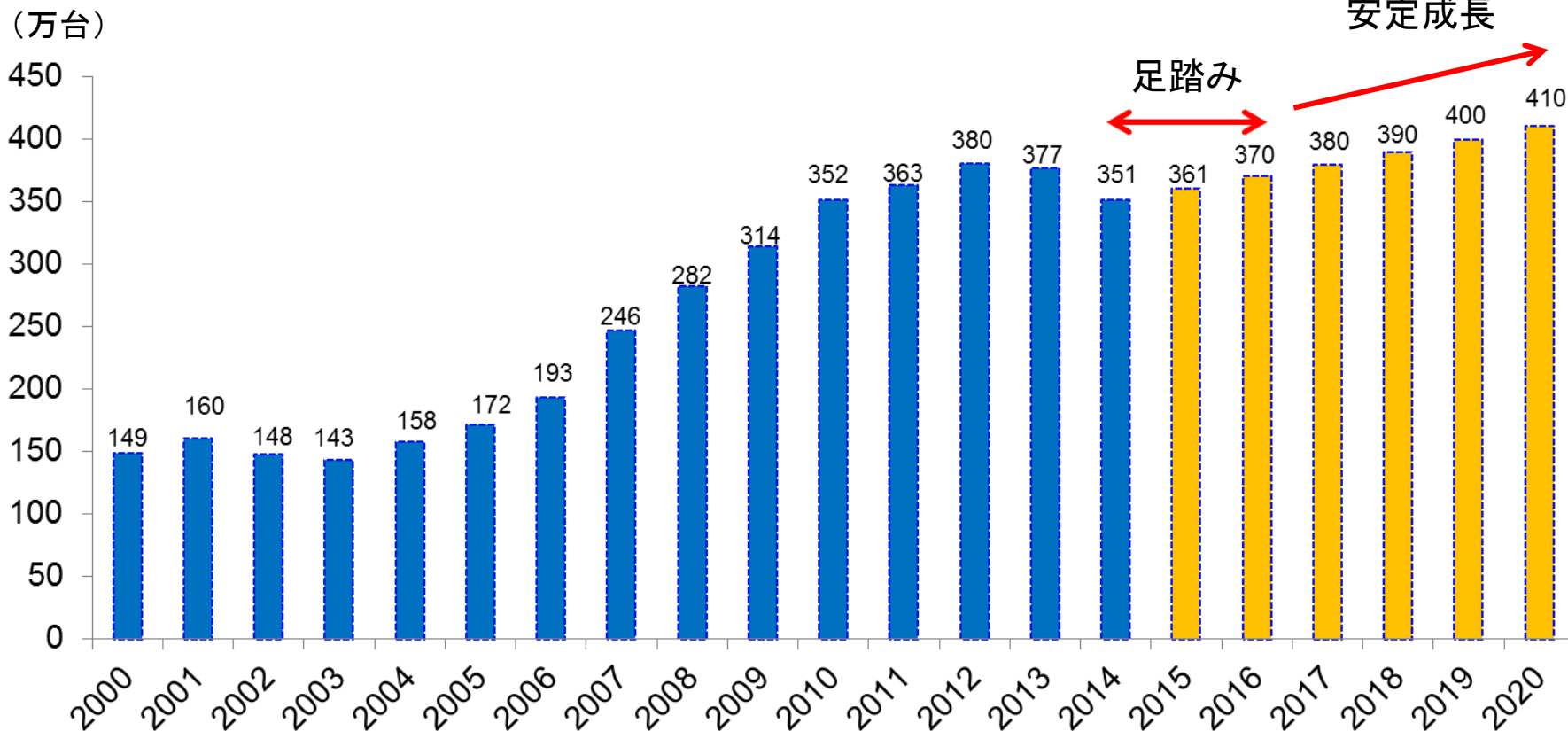


- ・ 2013年IPI税率引き上げ再開後の市場は、1、2月大きく落ち込み、3月から徐々に回復
- ・ 2015年も同様に、1、2月大きく落ち込み、3月～4月に徐々に回復する予想

## 2.5 2015年展望 ー中長期 展望

出典:Bradesco AutoData セミナープレゼン資料(2014年7月)

## ◆自動車市場 推移



- 自動車市場も足元は足踏みするも、中長期としては安定成長を見込む



## 3.1 新政権の方針と業界への影響

所信表明演説より要点抜粋



**Joaquim Levy**財務大臣  
(無所属)

- (1) 元リオ州財務長官
- (2) 元ブラデスコ銀行グループ幹部



**Armando Monteiro**開発商工大臣  
(ブラジル労働党)

元工業連盟 会長

### 財務省

- 財政収支の黒字化
- インフレ目標政策
- 為替安定の為に行う市場介入の縮小
- 政策の安定化、定着

### 開発商工省

- 産業の発展
- 先進技術の促進
- 税制の簡素化
- 海外貿易の活性化への取組み

## 3.2 新政権の方針と業界への影響

### ◆産業の競争力強化政策による環境改善

- 税制体系の簡素化
  - 社会負担金(PIS/COFINS)の統合による簡便化
  - 商品流通税(ICMS)の一体化/簡素化
- 輸出促進のためのインセンティブ、政府補助による輸出増加
  - 移転価格税制(Transfer Price)の見直し
  - 特別払戻税(Reintegra)の継続
- 新自動車政策(Inovar-Auto)によるさらなる現地化の促進や技術開発の投資促進

### ◆財政黒字化政策による負担増

- 輸入車への増税(PIS/COFINS) 11.60%→15.19% (5月～)
- 燃料への増税: 社会負担税(PIS/COFINS・2月～)、燃料税(CIDE・5月～)

ガソリン代上昇	約R\$0.22 / L
軽油代上昇	約R\$0.15 / L

- IPI税率の引上げ(1月～)
- 電力会社への補助金打ち切りによる電気代への価格転嫁
- 金融取引税(IOF)の増税 1.5% → 3%へ上昇(1月～)
  - ✓ 自動車ローン利用者の負担増(12ヶ月までローンの場合)

## 4. 競争力強化への課題

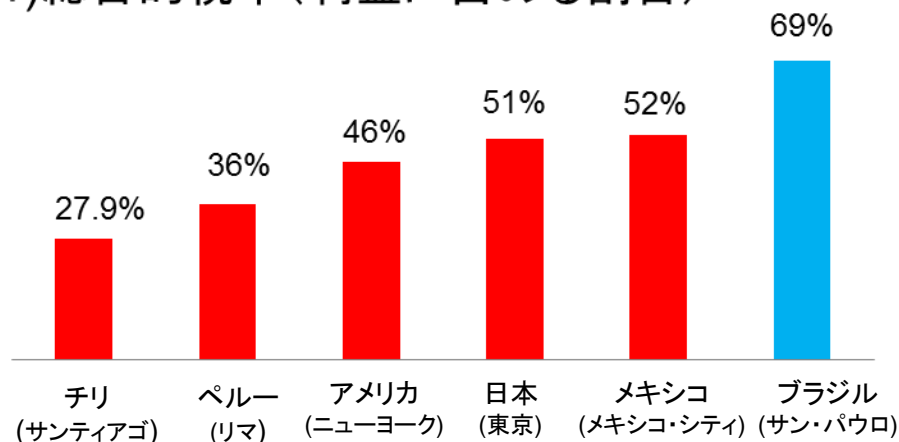
### ◆官民と連携した競争力強化への取組み 5項目(賢人会より日伯両首脳に提出)

1. 税制改革: 税の引き下げと簡素で分かりやすい税体系への移行
2. インフラ整備: 港・道路・鉄道などの物流インフラの整備
3. 人材育成: エンジニアや熟練労働者など、高度な教育・訓練を受けた人材の育成
4. 裾野産業の育成: 戦略的な裾野産業育成策によるコスト競争力向上
5. 輸出を促進する政策: 競争力強化と輸出促進する通商政策

# 4.1 競争力強化への課題 ー税制改革

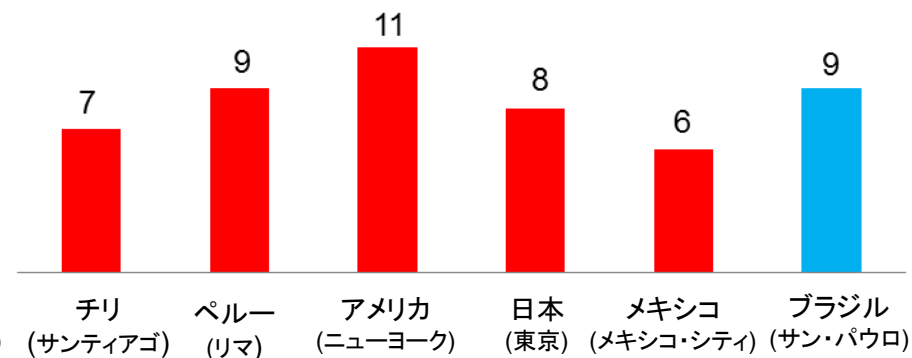
出典:Doing Business 2015, World Bank

(1) 総合的税率(利益に占める割合)

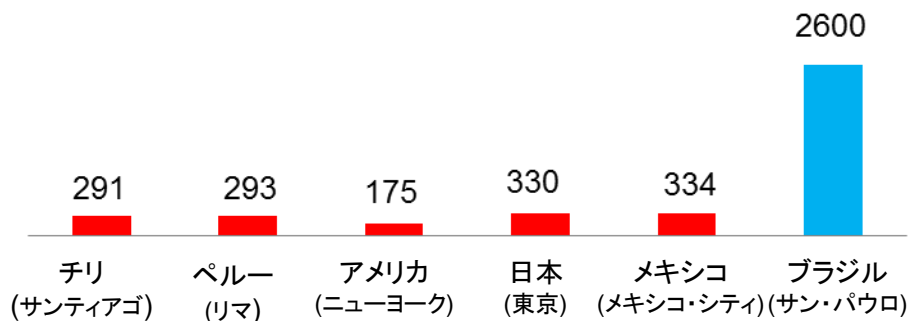


\* 創立2年目の中規模の会社に本来かかる税や負担金の割合

(2) 年間支払い回数



(3) 年間手続き所要時間

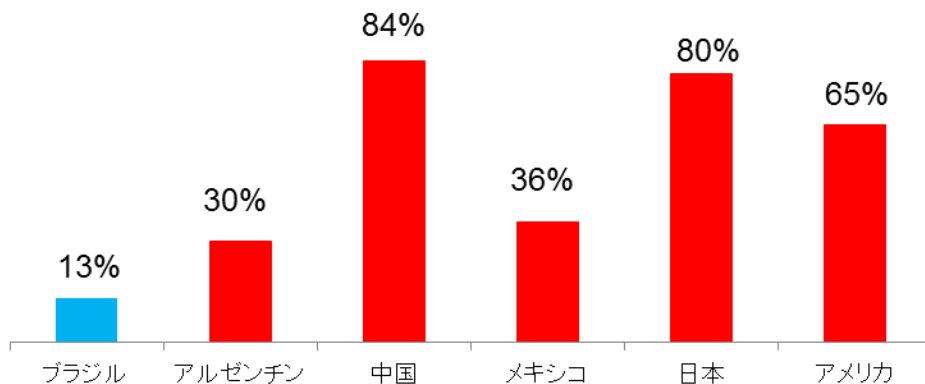


- 納税のしやすさは世界177位(189地域中)
- グローバルでも南米でも納税手続きの  
手間と税率はワースト・クラス

## 4.2 競争力強化への課題 – インフラ整備

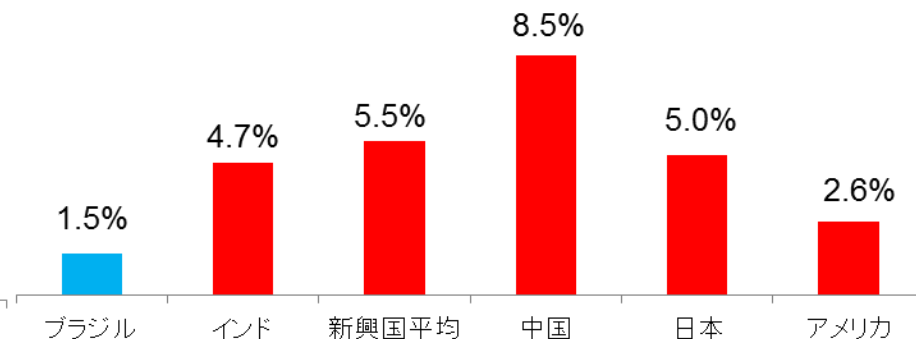
(1), (2) 出典: McKinsey Global Institute, McKinsey Infrastructure Practice (2013年1月)

### (1) 道路舗装率

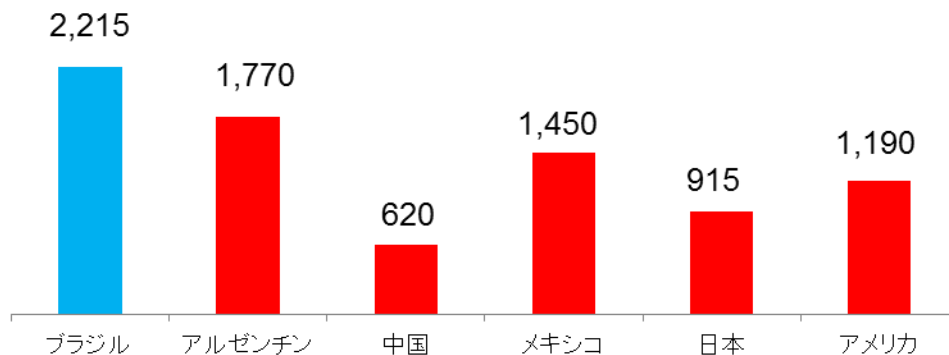


### (2) 道路・港湾・空港への投資

(GDPに占めるインフラ投資の年間平均比率)



### (3) 海上輸送にかかるコンテナ1台ごとの輸出コスト(ドル)



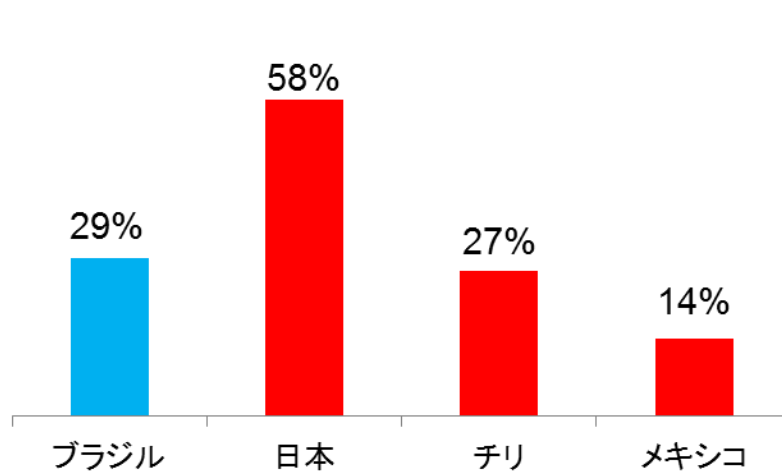
(3) 出典: Doing Business 2015, World Bank  
2014年6月時点のコスト

・ 不十分なインフラ整備と投資

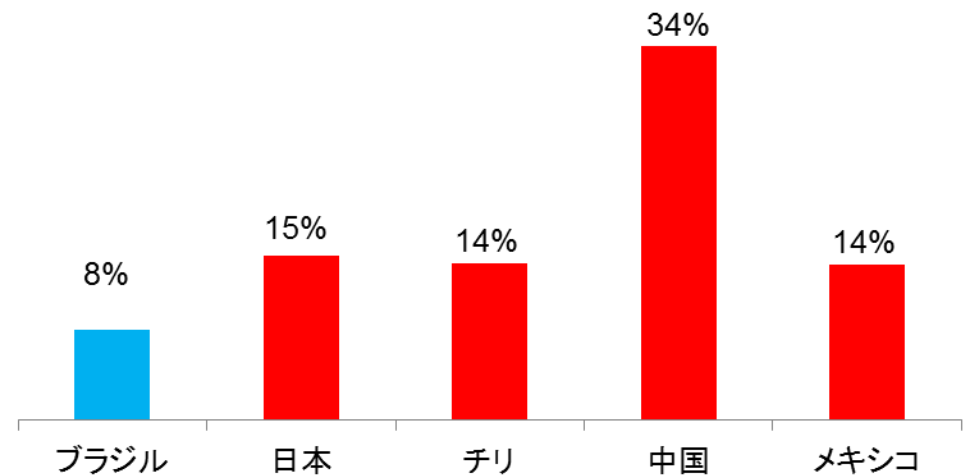
## 4.3 競争力強化への課題 一人材育成

出典:文部科学省「諸外国の教育系統」(2013年), INEP (2013)

(1)大学進学率



(2)大学卒業に占めるエンジニア比率

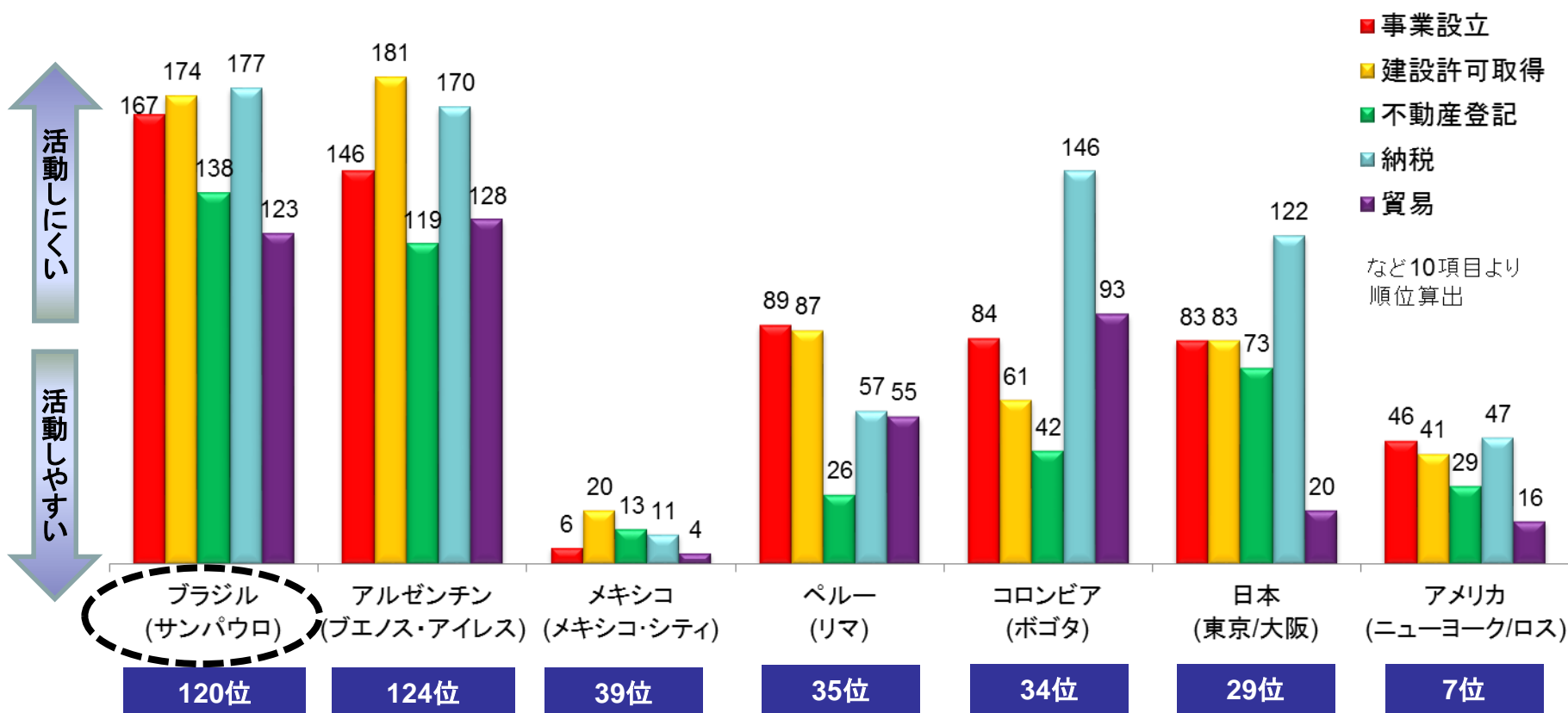


- ・ 質の高い人材、エンジニアが不足
- ・ 企業は全国工業職業訓練機関(SENAI)などと提携した産業人材育成プログラムなどで対応

## 4.4 競争力強化への課題 — 裾野産業の育成(1)

出典:Doing Business 2015, World Bank

## ◆2015年ビジネス活動の安易度ランキング(世界189地域内順位)



・ 同じ中南米地域の中でも極めて高いビジネス上の弊害

## 4.4 競争力強化への課題 ー裾野産業の育成(2)

### ◆ブラジルにおける自動車部品の現調化状況

#### <現調化が進む部品>

- ・プレス部品
- ・プラスチック部品
- ・内装部品            など

#### <現調化が進みづらい部品>

- ・エンジン
- ・トランスミッション
- ・電子制御部品        などの高度な技術を要する部品

- ・ 各社Inovar-Autoで求められる現調率の達成を目指すものの、  
高度な技術を要する電子制御部品はサプライヤーの基盤がなく、現調が進んでいない
- ・ 今後Inovar-Autoの生産工程の要件をクリアするために、現調化が難しい分野での対応が必要



## 4.5 競争力強化への課題 ー輸出を促進する政策

### 1. 低い国際競争力

高いコスト(労務コスト・公共料金)

不十分なインフラ整備(港湾・鉄道・道路)

人材育成の遅れ(質の高い人材・エンジニア不足) など

### 2. 企業負担の多いビジネス制度

煩雑な税制体系(PIS/COFINS、ICMS、IPI、等)

高額な税負担(PIS/COFINS、ICMS、移転価格税制、IPI)

低い競争力を補う一時的な方策の欠如 など

## 5. 日系メーカーとしての取組み

1. 「高品質」、「高い顧客の満足度」といった日本メーカーの強みの維持・向上
2. 環境への対応と企業イメージの向上
3. 競争力向上のためのコスト低減活動
4. 為替対応を踏まえた部品の現調化と輸出の促進

# 5.1 日系メーカーとしての取組み

## 1. 高品質、高い顧客の満足度といった日本メーカーの強みの維持、向上

出典: J.D. Power

### ◆車所有者満足度調査

#### - ランキング -

順位	2012年	2013年	2014年
1	<b>Toyota</b>	<b>Toyota</b>	Hyundai-HMB
2	Hyundai	<b>Honda</b>	<b>Toyota</b>
3	Kia	Hyundai-Caoa	<b>Honda</b>
4	<b>Nissan</b>	<b>Nissan</b>	Kia
5	<b>Mitsubishi</b>	Kia	<b>Nissan</b>
6	<b>Honda</b>	Citroen	<b>Mitsubishi</b>

- 顧客満足度ランキングで日系メーカーは常に上位にランクイン

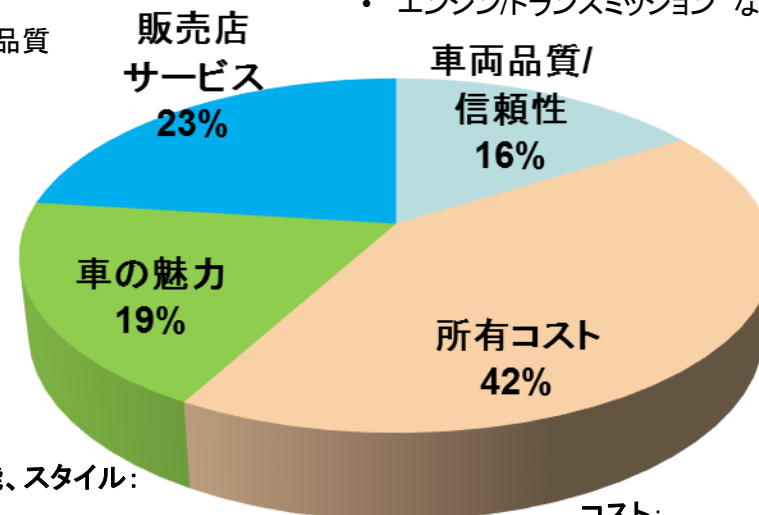
#### - 満足度に影響する項目 -

##### サービス:

- 接客
- 納期
- サービススタッフ
- 販売店設備
- サービスの品質

##### 品質

- 操作性
- オーディオ/ナビ/エンターテインメント機器
- クーラー/空調機
- エンジン/トランスミッション など



##### デザイン、機能、スタイル:

- 外観、内装
- 車内スペース
- クーラー/空調機
- 注目度/安全性 など

##### コスト:

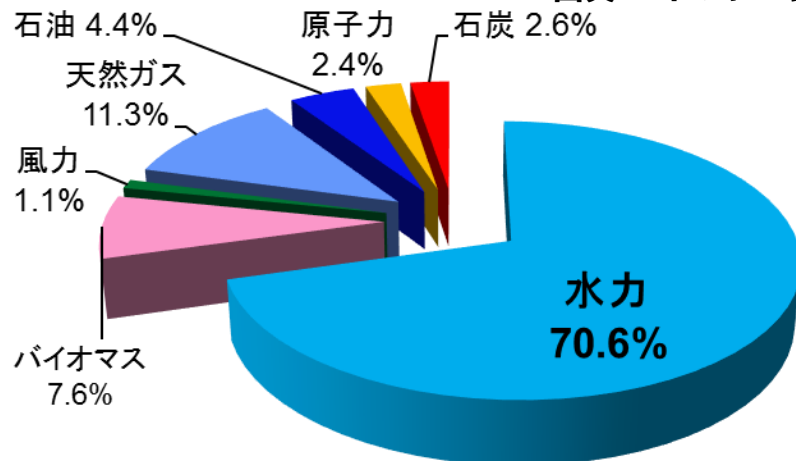
- 燃費の良さ
- 保険
- 維持費/修理費

## 5.2 日系メーカーとしての取組み

### 2. 環境への対応と企業イメージの向上

#### (1) ブラジル電力エネルギー源

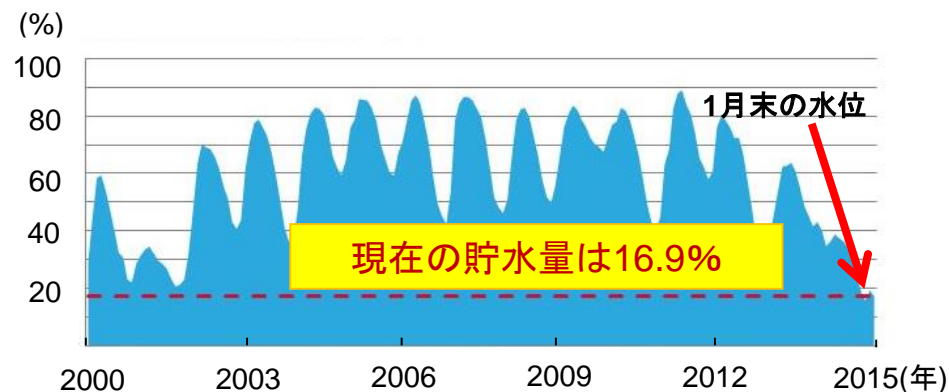
出典: エネルギー・鉱山省



#### (2) 水力発電所の貯水量

(南東部[サンパウロ含む]の過去15年間の推移)

出典: ONS



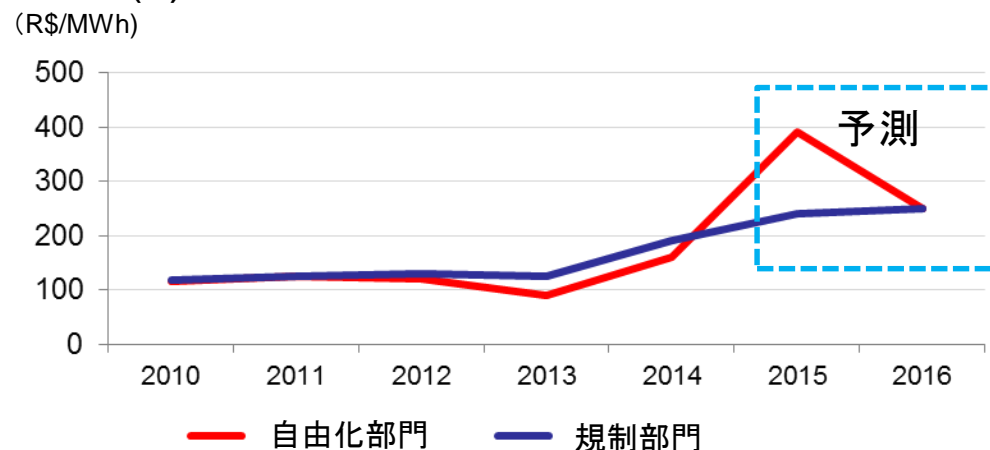
#### (3) 投資コストの比較

社内調べ

エネルギー源	R\$/MWh
水力	50 - 80
風力	100 - 120
バイオマス	120 - 180
太陽	250
石油	280 - 350

#### (4) 電気代の上昇

社内調べ



## 5.2 日系メーカーとしての取組み

### 2. 環境への対応と企業イメージの向上 — 風力発電の使用(ホンダ)



#### Honda Energy do Brasil

- 拠点: リオ・グランデ・ド・スル州シャングリラ市
- 稼動開始: 11月26日
- 投資額: 約1億リアル(約43億円)
- 風力タービン9機で年間発電量は9万5千MWh
- スマレー工場稼動に必要な電力(7万MWh)を補う



スマレー工場のCO2排出量30%低減  
+  
40%~45%のエネルギーコスト削減

## 5.3 日系メーカーとしての取組み

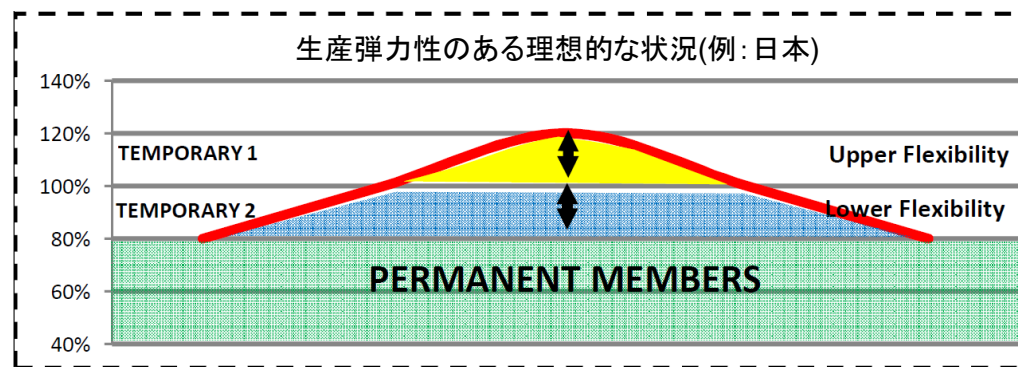
### 3. 競争力向上のためのコスト低減活動ーソロカバ工場での期間従業員の採用(トヨタ)

目的: 増産に対応しつつも、不景気時に正社員の解雇をしないように、柔軟な労働力を確保

14年4月からサンベルナルド工場で期間従業員の採用を開始

- ・最大2年の契約で6ヶ月ごとに契約更新
- ・上限2割
- ・サンベルナルド工場のさらなる生産弾力性向上について組合と議論

効果: 深夜手当、諸費用の削減



- ・ サンベルナルド工場で実施した取組みをソロカバ工場の能増へ横展

## 5.4 日系メーカーとしての取組み

### 4. 為替対応を踏まえた部品の現調化と輸出の促進－エンジンベンチ&エンジン工場の新設(トヨタ)

背景:

- 部品の現調率を向上するためにサプライヤーの技術力の育成が課題
- エンジンの現地生産は現調率向上への重要案件

(1)エンジンベンチの新設(SBC工場)



(2)エンジン工場の建設(Porto Feliz市)



期待される効果:

- エンジンベンチ新設による現調化のスピードアップ
- エンジンベンチを利用したローカル・サプライヤーの育成と技術力向上
- エンジン部品の現調率向上による為替の影響とコストの低減

## 5.4 日系メーカーとしての取組み

### 4. 為替対応を踏まえた部品の現調化と輸出の促進 — 南米向け輸出(トヨタ)

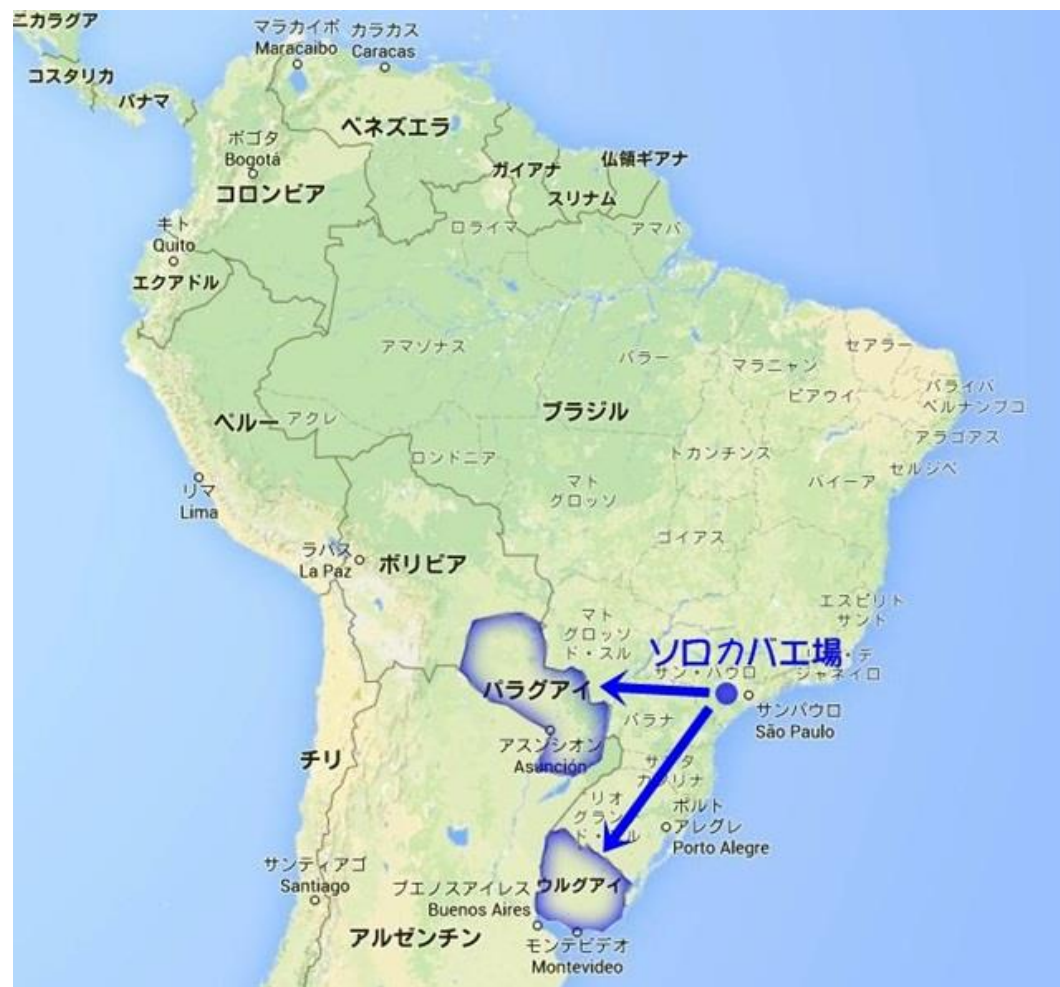
#### ◆エティオスのウルグアイ・パラグアイへの輸出(2014年11月～)

リリースより概要作成

- ブラジル・ソロカバ工場生産するエティオスをこれまでのアルゼンチン向けに加え、新たにウルグアイとパラグアイへ輸出

#### 税還付措置(REINTEGRA)の活用

- 工業品の製造者の輸出につき、輸入部品が一定限度以下で使用されていることを条件に輸出売上高の3%までの金額を還付
- 還付は、現金または他の税金の支払いとの相殺のいずれかの選択を通じて行われる





## 6. 総括

### ◆官民と連携した競争力強化への取組み 5項目(賢人会より日伯両首脳に提出)

1. 税制改革:税の引き下げと簡素で分かりやすい税体系への移行
2. インフラ整備:港・道路・鉄道などの物流インフラの整備
3. 人材育成:エンジニアや熟練労働者など、高度な教育・訓練を受けた人材の育成
4. 裾野産業の育成:戦略的な裾野産業育成策によるコスト競争力向上
5. 輸出を促進する政策:競争力強化と輸出促進する通商政策

### ◆日系メーカーの競争力強化への取組み

1. 「高品質」、「高い顧客の満足度」といった日本メーカーの強みの維持・向上
2. 環境への対応と企業イメージの向上
3. 競争力向上のためのコスト低減活動
4. 為替対応を踏まえた部品の現調化と輸出の促進

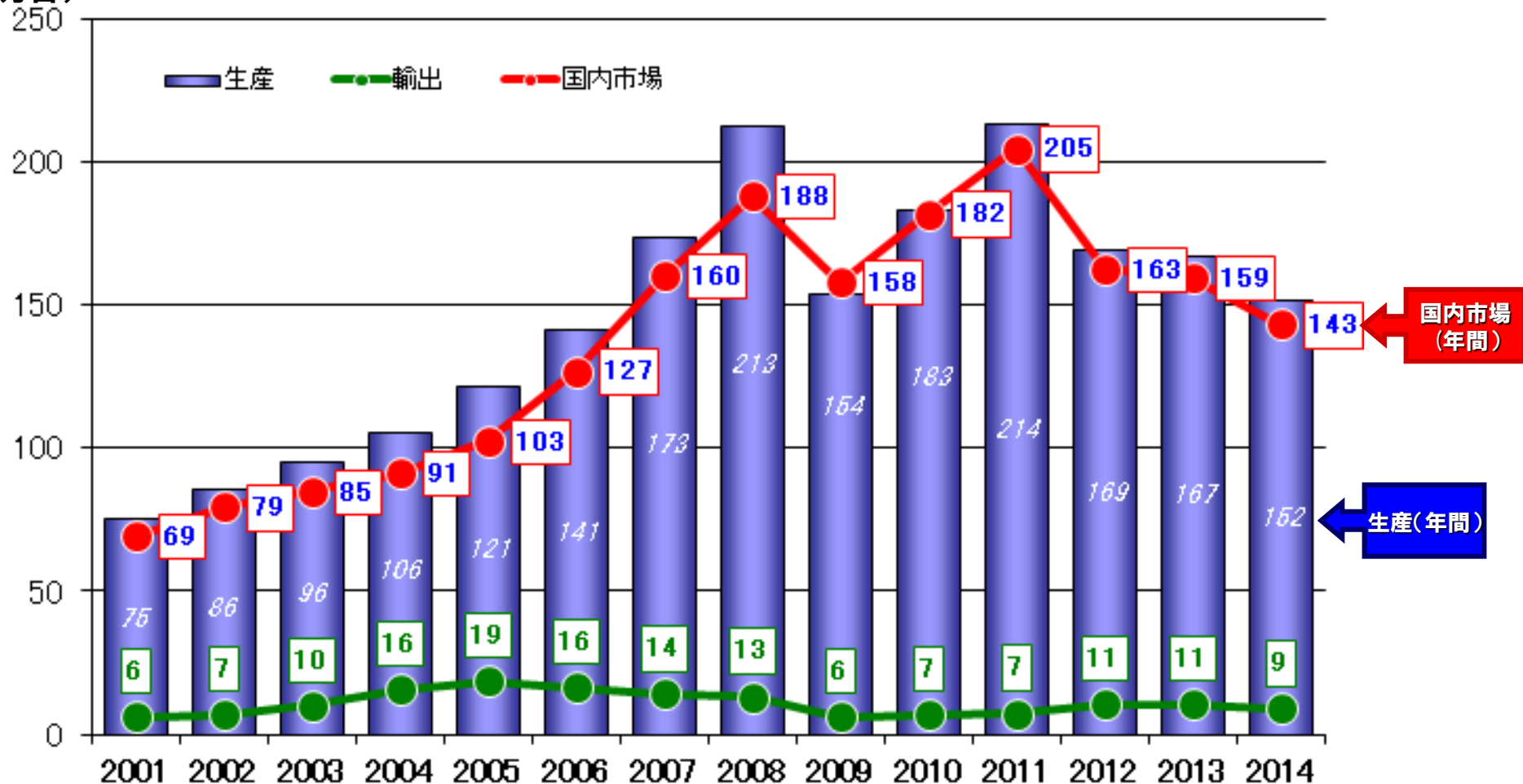
## 二輪業界動向

1. 生産・販売推移
2. 月別販売推移
3. 支払形態別 販売比率
4. 新車・中古市場推移

## 1. 二輪車 生産・販売 推移

出典:Abraciclo

(万台)

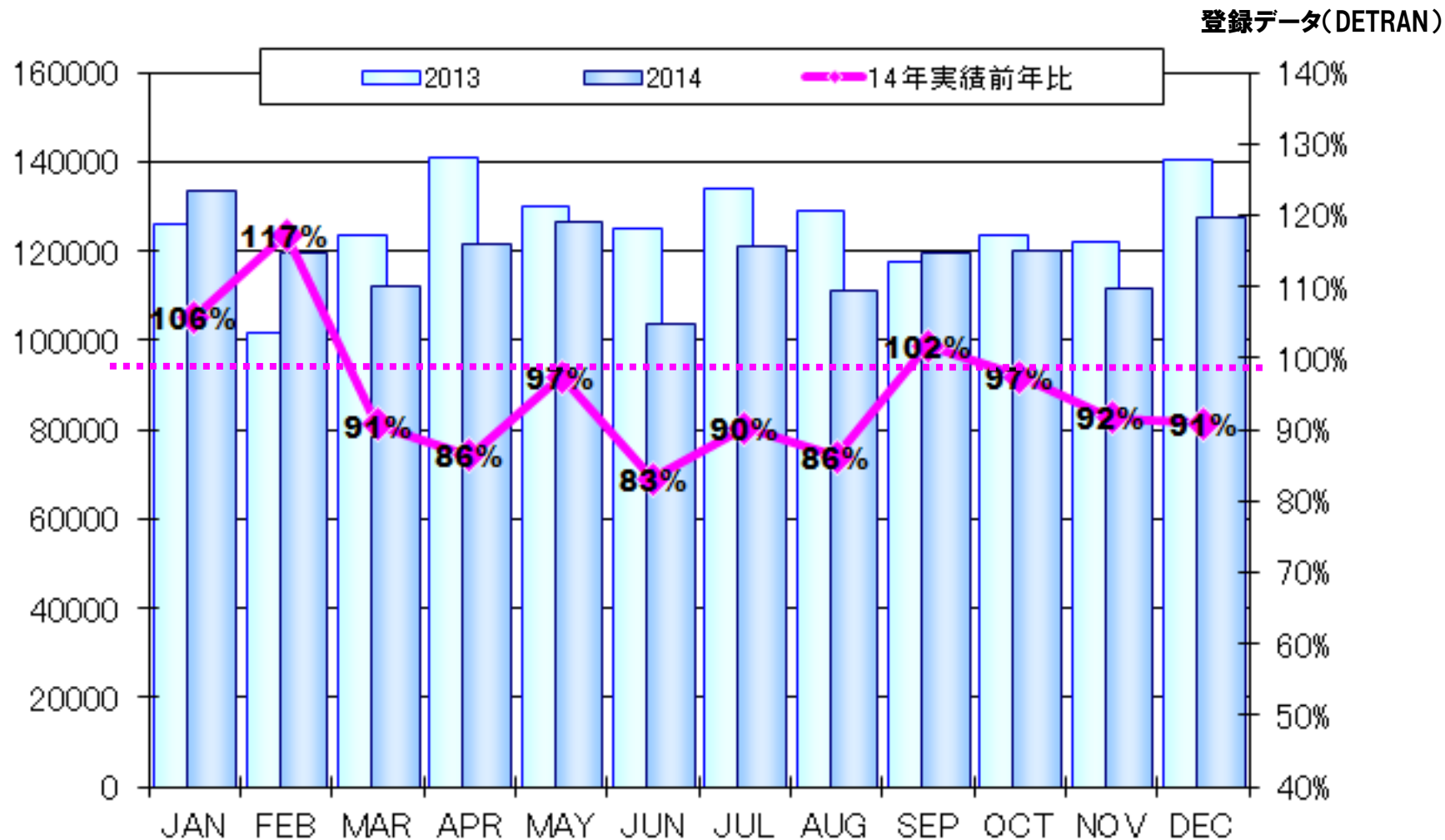


## 2014年実績

- 卸 143万台(前年比90%)
- 生産 152万台(前年比91%)
- 輸出 9万台(前年比82%)

経済環境、雇用不安、与信の厳格化等により市場は減少  
卸、生産は末販状況に連動して前年を下回る実績となる  
また南米諸国も市場環境が悪化し、輸出も落ち込む

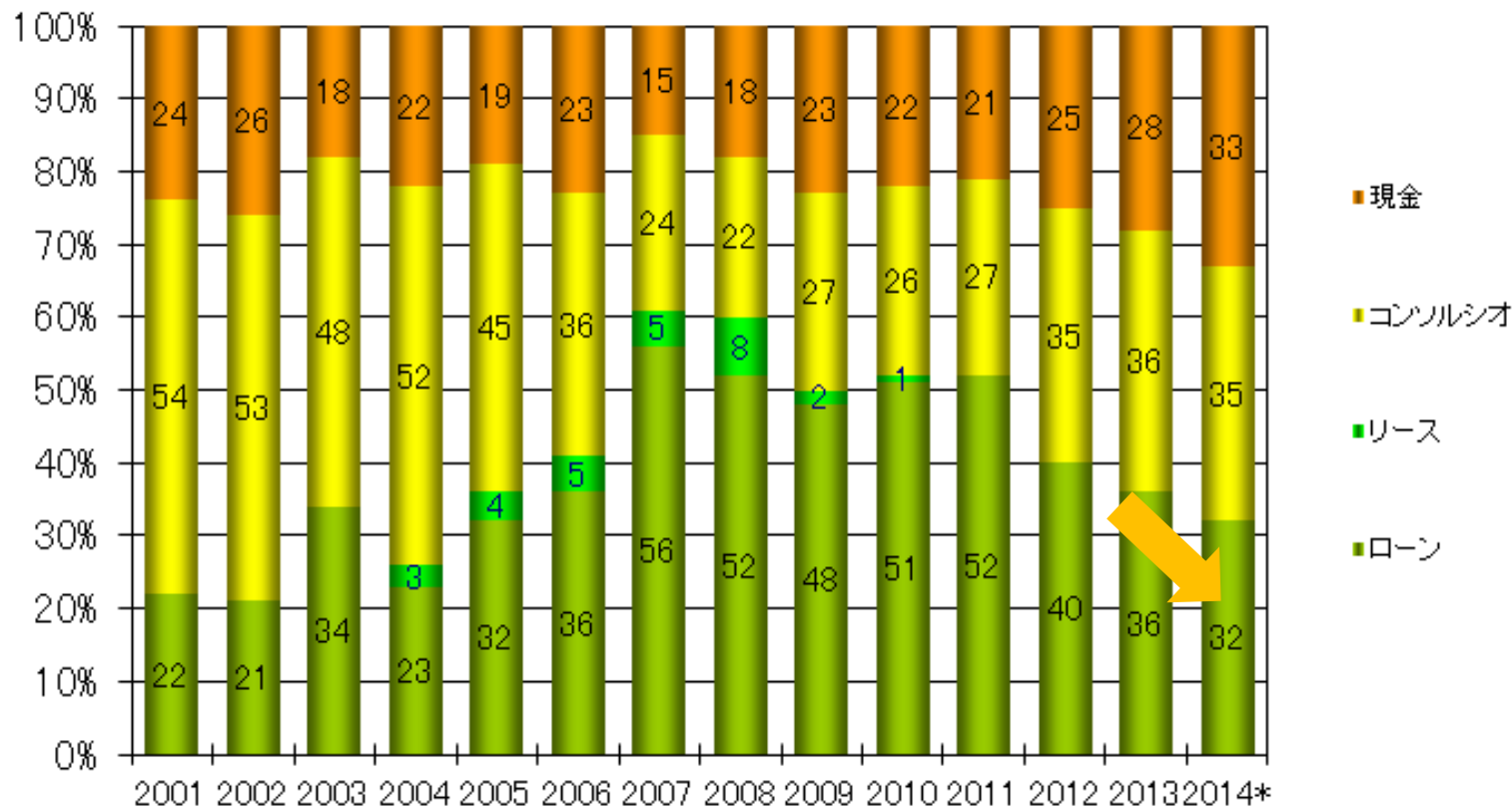
## 2. 二輪車 月別販売推移 (2013年vs2014年)



- ・ 年初は前年を上廻るも、Wカップによる稼働減、経済環境の悪化によって前年を下廻って推移
- ・ 大統領選後も消費者マインドは改善せず、利上げによってファイナンスには逆風となる
- ・ 通年で登録市場143万台(前年比94%)と前年を下廻る

### 3. 二輪車 支払形態別 販売比率

出典: ANEF (自動車メーカー系金融会社協会)

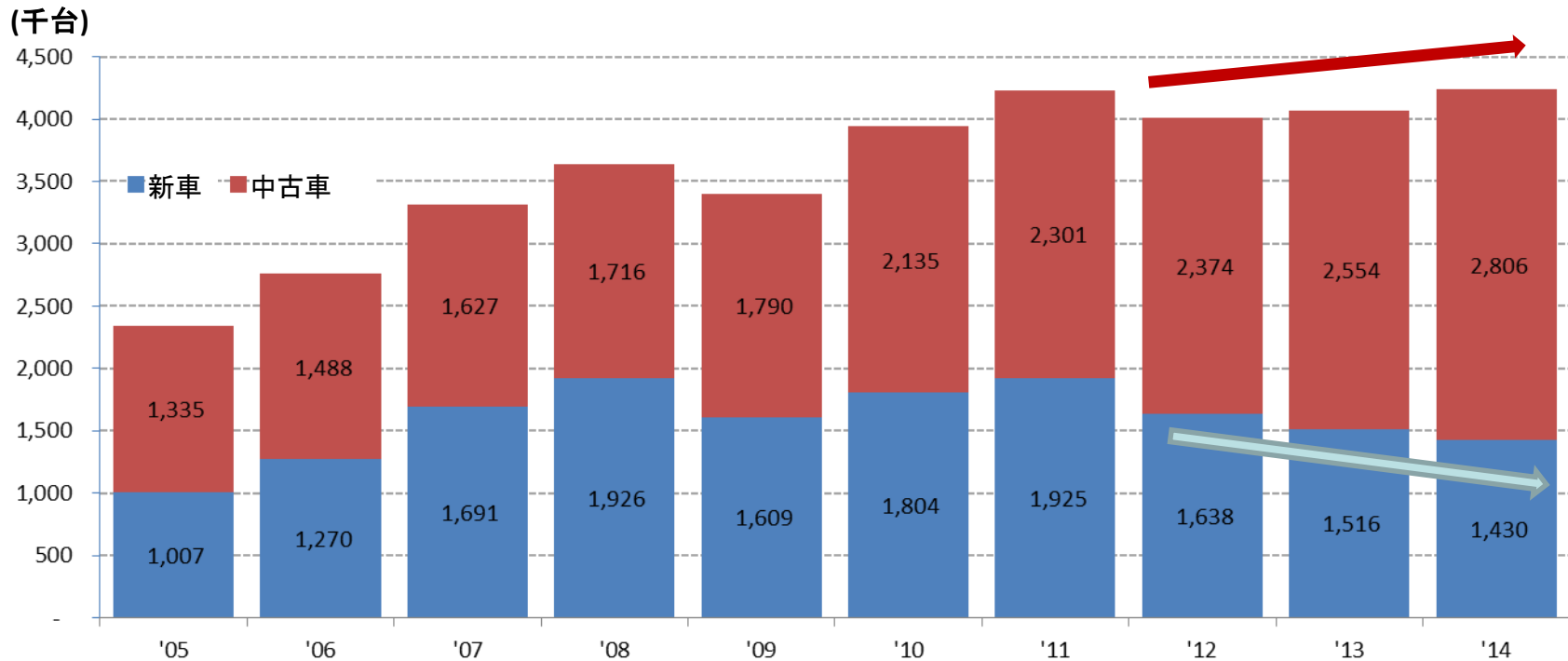


\*2014年は9月までの実績

- ・ 2012年に始まった与信審査の厳格化が2014年も継続し、全体市場に大きな影響を与えている
- ・ コンソルシオについても加入権販売の落ち込み、バイクの引取率低下等が見られる

## 4. 二輪車 新車・中古市場推移

出典：新車(登録データ) 中古(Fenabrave)



- 与信審査の厳格化が始まった2011年以降、新車販売は落ち込むも、お買い求め易い中古車市場は拡大し続けており、二輪に対する根強い需要が伺える(全体市場は420万台を超えるレベルまで拡大中)

# Obrigado!

ご清聴ありがとうございました。